

生き活き関西～“健康・医療”先進地域ビジョン～(骨子)

健康・医療分野への取組みにおける理念

普遍的な願望であり、持続可能な社会を支える“健康”の実現

日本の発展(経済,国際競争力)

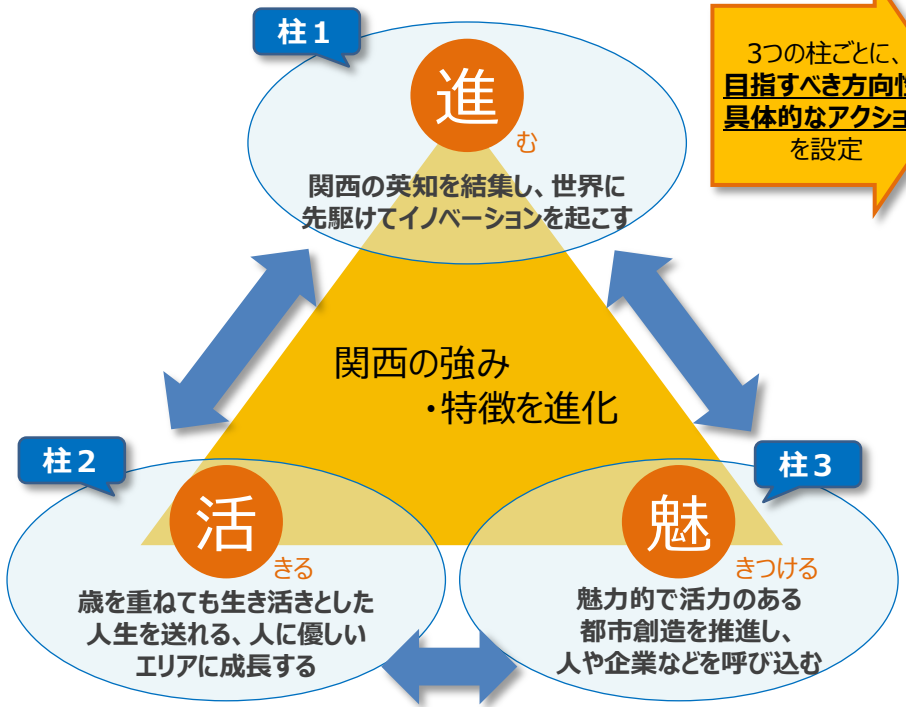
社会的使命

ビジネスチャンス

関西で取り組む意義

- ・健康・医療イノベーションのポテンシャルが高い。
- ・関連産業が集積。
- ・国際戦略総合特区、国家戦略特区に指定。
- ・観光資源、交通インフラが充実。
- ・日本の“双発エンジン”としての役割。

ビジョンを支える3つの柱



経済界として目指すべき方向性と主なアクション(例)

柱1	方向性	イノベーション早期創出に向け、環境整備・オール関西での連携強化 → 成果の国内外への発信。
	主なアクション	・関連機関の関西拠点の設置・機能拡充のための、要望・提言(例:AMED,PMDA) ・効果的なアウトバウンドに向けた、関西が一体となったPRや先行するプロジェクト等との連携 等
柱2	方向性	異業種横断的連携による新ビジネス・サービスの創出、企業の労働力維持・向上、消費行動促進、企業・まちの発展、といった好循環の形成。
	主なアクション	・実務者をターゲットとした情報交換会や、オープンイノベーションに関する取組み ・東京オリンピック・パラリンピックや関西ワールドマスターズゲームズ2021の開催をきっかけとした、健康増進の環境醸成のためのプロモーションの実施や住民への参加促進 等
柱3	方向性	“知”を集積し繋ぎ合わせる“場”づくりや国際的イノベーション拠点形成、健康まちづくりによる持続可能社会の構築 → 国内外からの人・企業を呼び込み。
	主なアクション	・“知”を集積し繋ぎ合わせる“場”の拡大 ・中核エリアへの高度医療機関や連携大学院をはじめとした教育機関等の設置推進 等
共通	方向性	本ビジョンを関西経済界のスタート台とし、具体的なアクションに関する議論の深堀と実行。 関西連内に必要な体制を整備の上、オール関西での産官学の具体的な連携(関西健康・医療産業創生会議(仮称)の設立)及び必要な規制改革の推進等について検討を行う。

アクションを実行

別添参照

関西における“健康・医療産業発展及び健康社会”の実現

10年程度先に目指す姿

- ① 革新的医薬品・医療機器・再生医療分野で日本・世界をリード
 - ② 関連産業において、“関西発”の新たな商品・サービスが展開
 - ③ 新たな高度医療拠点形成・各クラスター間連携により、世界トップクラスの健康・医療基盤となる
 - ④ 従業員やその家族等の健康維持・増進による企業の発展
 - ⑤ 都市・地方で、住みやすい魅力あるまちとして成長し続ける
- 好循環

第53回関西財界セミナー 第1・第2分科会概要

第1分科会

「世界最先端の健康・医療イノベーション拠点への成長と企業の発展」

世界に先駆けて超高齢社会に突入した日本において、関西の強みを活かした健康・医療産業振興や新たな関連産業の創出、企業の発展の視点から健康・医療分野において関西が果たすべき役割等について討議

- 議長：手代木功 塩野義製薬(株) 取締役社長、河野雅明 (株)みずほ銀行 取締役副頭取 (敬称略・順不同)
- 問題提起者：井村裕夫 第29回日本医学会総会2015関西 会頭、京都大学 名誉教授(第1・第2合同分科会)
土屋裕弘 田辺三菱製薬(株) 取締役会長
森下竜一 大阪大学大学院 医学系研究科教授、健康・医療戦略 参与、規制改革会議 委員
澤芳樹 大阪大学大学院 医学系研究科教授、inochi未来プロジェクト 実行委員長(第1・第2合同分科会)
- 参加者：65名
〔製薬企業・関連団体(9),医療機器メーカー(9),医療・検査機関(2),その他企業(25),社団・財団法人等(11),行政・自治体(9)〕

第2分科会

「健康・医療を支える魅力あるまちづくり・意識づくり」

世界に先駆けて超高齢社会に突入した日本において、まちづくりの視点から健康・医療分野において関西が果たすべき役割等について討議

- 議長：角和夫 阪急電鉄(株) 取締役会長、家次恒 シスメックス(株) 取締役会長兼社長 (敬称略・順不同)
- 問題提起者：西名弘明 オリックス(株) グループ関西代表 執行役副会長
(合同実施分除く) 谷口守 筑波大学 システム情報系社会工学域教授
- 参加者：45名
〔デベロッパー・ゼネコン・設計事務所等(7),健康・医療関連企業・団体・機関(8),その他企業(19),社団・財団法人等(6),行政・自治体(5)〕

各分科会 + 合同分科会での討議

生き生き関西～“健康・医療”先進地域ビジョン～(略称:生き生き関西ビジョン)を取りまとめ